

年間利用状況報告書

令和 6 年度

京都市向島南児童館

1 児童館事業

	乳幼児	小1～3年	小4～6年	中高生	大人	ボランティア			合 計	開館日数	1日平均利用者数
		自由来館	自由来館			中高生	大学生	大人			
4月	13	54	25	84	18	0	0	11	205	25	8.2
5月	19	63	14	95	29	0	0	10	230	24	9.58
6月	30	115	45	75	30	0	0	15	310	25	12.4
7月	8	89	26	39	13	0	0	9	184	26	7.08
8月	11	57	15	33	10	0	0	9	135	26	5.19
9月	28	45	8	92	24	0	0	14	211	23	9.17
10月	20	46	8	115	24	0	0	5	218	26	8.38
11月	35	79	10	75	42	0	0	13	254	24	10.58
12月	28	54	18	138	28	0	0	16	282	24	11.75
1月	15	21	6	88	15	0	0	13	158	23	6.87
2月	36	33	21	132	45	0	0	11	278	22	12.64
3月	32	70	48	150	42	0	0	14	356	25	14.24
合計	275	726	244	1116	320	0	0	140	A 2427人	B 295 日	A÷B 8.23人

2 学童クラブ事業

(1) 館所全体の登録児童数・出席児童数

	月初登録 児童数	延べ出席児童数							実施日数	1 日 平 均 出席児童数	月～金曜日平均	土曜日平均
		1 年	2 年	3 年	4 年	5 年	6 年	合計				
4月	88	411	313	305	91	26	40	1186	25	47.44	54	13
5月	94	482	280	305	69	0	22	1158	24	48.25	53.1	14.3
6月	95	481	312	272	72	1	23	1161	25	46.44	53.7	17.4
7月	95	493	317	312	103	10	40	1275	26	49.04	55.2	15.3
8月	99	433	327	303	96	32	54	1245	26	47.88	56	13.6
9月	97	421	307	280	54	0	22	1084	23	47.13	54.1	14
10月	97	486	332	269	65	0	26	1178	26	45.31	51	13.8
11月	97	444	309	235	60	0	24	1072	24	44.67	50.3	16.5
12月	97	411	271	246	52	0	22	1002	24	41.75	47.4	13.8
1月	97	378	251	224	61	0	20	934	23	40.6	46.6	12.3
2月	96	367	226	200	48	0	19	860	22	39.09	45.2	11.5
3月	96	422	313	290	92	0	27	1144	25	45.76	53.4	15.2
合 計		5229	3558	3241	863	69	339	C 10805人	D 295 日	C÷D 36.6271 人		

※2クラス以上の館所については、クラスごとの登録児童数・出席児童数を様式6-2に記入して下さい。

年間総利用者数

児童館事業(A)+学童クラブ事業(C)

A+C
13232 人

年間利用状況報告書

令和 6年度

京都市向島南児童館

2 学童クラブ事業

(2) クラスごとの登録児童数・出席児童数

クラス名 A

	月初登録 児童数	延べ出席児童数						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
4月	43	208	151	173	44	0	28	604
5月	47	233	129	180	41	0	22	605
6月	48	231	123	159	39	0	23	575
7月	48	232	129	151	37	0	22	571
8月	50	205	156	133	39	17	29	579
9月	49	218	138	161	35	0	21	573
10月	49	262	156	169	41	0	26	654
11月	49	250	151	143	40	0	24	608
12月	49	231	126	131	32	0	19	539
1月	49	211	112	132	31	0	20	506
2月	49	196	93	122	31	0	19	461
3月	49	234	140	159	36	0	22	591
合 計		2711	1604	1813	446	17	275	6866

クラス名 B

	月初登録 児童数	延べ出席児童数						
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
4月	45	203	162	132	47	26	12	582
5月	47	249	151	125	28	0	0	553
6月	47	250	189	113	33	1	0	586
7月	47	261	188	161	66	10	18	704
8月	49	228	171	170	57	15	25	666
9月	48	203	169	119	19	0	1	511
10月	48	224	176	100	24	0	0	524
11月	48	194	158	92	20	0	0	464
12月	48	180	145	115	20	0	3	463
1月	48	167	139	92	30	0	0	428
2月	47	171	133	78	17	0	0	399
3月	47	188	173	131	56	0	5	553
合 計		2518	1954	1428	417	52	64	6433

令和6年度 児童館事業年間活動報告書															京都市向島南 児童館	
		活動名	実施回数	参加人数										内 容	成 果 と 課 題	
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア					合計
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中学生	大学生	大人			
子ども育成機能	基本活動	(2) 遊びの教室活動	189	286	659	9898	255	907	774	340	6	2	105	13232	みんな遊び・将棋・けん玉・オセロ等ボードゲーム・折紙クラフト・レゴ,カプラ,積木等の構成遊び・サッカー,ドッジボール,ストリートバスケット等のスポーツ系・一輪車・書道教室、クラフト教室など(乳幼児の遊び内容はエコとクリーンの日・防災と安全の日・他NPO・企業等との連携企画・おやこ自転車教室 紙飛行機飛行距離・飛行時間測定会 エンジョイプロジェクト2024 他	学童クラブ活動と併用という形だが自由来館児童も希望があれば参加自由で、間口を広くして取り組んでいる。今年度はクラブ所属児童に誘われたり、旧所属児童の参加が増えている。
		(3) 行事活動	49	21	83	1487	6	128	0	63	6	0	4	1798	クラフト教室(各学童・中高生向け)・百人一首クラブ・将棋クラブ(将棋教室)・けん玉クラブ(検定) 他	教室活動同様、参加募集(申し込み制)したり、可能な企画なら、参加自由で取り組めるようにしている。
		(4) クラブ活動	172	0	91	1388	20	142	34	0	0	0	0	1675	伏見子どもまつり・五色百人一首京都府大会,連盟子ども将棋交流大会への参加・淀児童館とのオンライン(将棋・遊び)交流会他	検定の実施や交流会・大会参加など明確な目標を設定している。また中高生を対象にした取り組みは 「中高生クラブ」にブックングしてクッキングを行ったりして参加しやすい工夫をしている。
		(5) 地域間交流促進活動	10	0	27	71	0	7	0	0	0	0	0	105	館活動・学童クラブ活動の中で常にノーマライゼーション(インクルージョン)の意識情勢に取り組んでいる。今年度は 放課後デイサービスとの併用利用(週2日)があり、送迎・取り組みなど児童が生活になじんでいくようすめた。またユニバーサルデザインへの参加による意識作りを進めてきた。	大会の仕様がコロナ禍以降変更があり、引率形式が取りにくくなっているが家庭の方に案内等を積極的に行ってきた。参加児童も成果を出していて自信を高めているので今後も継続して取り組んでいきたい。
		(6) 障害のある児童の居場所作りと活動への参加	1	0	0	4	0	0	0	0	0	0	0	4	毎年ユニバーサルデザイン応募にも積極的に取り組み意識作りを行った。今年度は放課後デイサービスとの併用される児童が入ってこられたが 違和感なく集団に溶け込めるように当人の様子を見ながら遊び等に溶け込めるよう配慮していた。	
		(7) 思春期児童の活動支援	173	0	0	0	0	0	774	0	6	0	0	780	ストリートバスケット・ボードゲームを楽しむ会・中高生クラブ・中高生クッキング 中高生赤ちゃん交流 他 ※学校との確認で 試験公示期間から試験終了までは利用方法を「勉強場所提供」にとどめている。	継続してバスケットボールの利用は多かった。またかつて学童クラブ参加の中高生たちが参加してくれることが増えてきた。クラフト、クッキングを楽しんでくれる姿がみられた。またイベント行事の手伝いをしてくれる児童も来てくれた。少しずつこういった機会が増えるよう取り組んでいる。
		合 計	542	307	852	12063	274	1080	1567	404	18	2	109	16676		
推進活動	推進活動	(9) 地域を知る活動	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	子どもに地域の歴史を伝え、自分の育つ地域の歴史に誇りを持てるよう保護者と共に学ぶ機会とする。実施は日曜日という事もあるので参加への呼びかけやポスター掲示等を行ったり館を休憩場所として提供する。	
		(10) 移動児童館活動	3	11	0	0	0	0	0	10	0	0	0	21	従来の活動パターンを取り戻しての活動になった。他団体との連携で企画を持ったり、学区社協との「子育てお出かけ隊」も地域のちびっこ広場に出て実施してきている。	
		合 計	4	11						10				15		
子ども育成機能 合 計																

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。
推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。
指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

令和6年度

児童館事業年間活動報告書

京都市向島南児童館

		活動名	実施回数	参加人数									内 容	成 果 と 課 題			
				乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人	ボランティア				合計		
					自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ			中高生	大学生				大人	
子ども 家庭 支援 活動	基 本 活 動	(1) ①乳幼児クラブ (0歳～就学前)	112	275	0	0	0	0	0	320	0	0	0	707	手遊び・読み聞かせ（絵本・大型絵本・紙芝居・パネルシアター）・サーキット遊び（平均台等）・感触遊び（小麦粉粘土・寒天・砂遊び等）・滑り台・お絵描きあそび・新聞紙千切り遊び・おままごと・季節ごと（行事に合わせた）の遊び他	夏季期間（学童夏休み）に空間の限界からみて安全面に問題があるのが現状。クルステーション時期に乳幼児クラブの回数が確保できない事が課題。地域的な児童数減少の反映か、少し参加状況が減少しているが、来ていただいた家庭は、繰り返し来ていただ	
		(1) ②子育てほっと 広場	181	32	0	0	0	0	0	32	0	0	0	64	絵本読み聞かせ おはなし会 大型遊具を使つての遊び 積木遊び 井戸端会議 等	気軽に保護者が井戸端会議ができるような雰囲気作りを心掛けている。また一人で見えた場合は職員が話し相手として何気ない会話から相談事な	
		(2) 家庭参加を促す 活動	24	122	0	0	0	0	0	121	0	0	0	243	子育て講座・おやこ自転車教室・発育測定・誕生お祝い・親子リトミック・季節行事（たなばた会・ハロウィン企画・クリスマス会・節分会・ひなまつり会） 子育てお出かけ隊・メモリアルカード作り・記念缶バッジづくり 他	家庭教育力向上への支援として各分野・方面からの講師を依頼したり、団体の援助を得て内容に広がりを図っている。	
		合 計	317	429	0	0	0	0	0	473	0	0	0	2233			
	活 動	(3)子育て家庭相談・援助 活動	子どもの年齢		件数	受 理 及 び 相 談 経 路				件数	相 談 内 容			件数	つないだ機関等		件数
			乳児 幼児 小1～3年（自由来館） 小1～3年（学童） 小4～6年（自由来館） 小4～6年（学童） 中学生 高校生 その他		8 2	児童館にて直接受理 児童相談所 保健所 子ども支援センター 主任児童委員 その他 { 地域住民より相談・情報提供 }				8 2	健全育成問題 家庭養育問題 成長・発達問題 教育問題 非行・問題行動 その他 { }			2 8	児童相談所 保健所 子ども支援センター 幼稚園・保育園 小中学校 総合支援学校 その他 { }	2	
			件数 計		10					10	－			10	－		2
			グループ名		構成人数		活 動 内 容				育成・支援内容			成果と課題			
	活 動	(4)子育てグループを育成 ・支援する活動	現在決まったグループの利用はナ ン											現在利用家庭のお子さんが、小さい事もあつてまずは参加してもらう事が中心。主体的、自主的に活動してもらうには負担が大きい。継続して乳幼児クラブ等のかかわりを通して構成できるよう引き続き今後も留意していく。			
	推 進 活 動	(5)子育てと健全育成に関 する啓発活動	活動名		実施回数		活 動 内 容				成 果 と 課 題						
			子育て講座・子育て相談 みんなおいでいっしょに遊 ぼう向島版		5		向島保育園の保育士に子育ての知恵として「食育について」「保育園紹介・あそび」「子育て相談」といったテーマで年3回講座を実施してもらった。今年度は みんなおいでいっしょにあそぼう向島版 年2回企画を担当団体とともに実施支援する。				子育て講座では お話自体もそうだが この機会に個別相談したい保護者も見えるので 少ない人数でも続けていく 事が必要と思われる。						

※注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動]（2）家族参加を促す活動に分類して記入すること。

地域 福祉 促進 機能	基 本 社 会 活 動	(1) 地域住民との交 流を促進する活 動	活 動 名	実施回数	主 催	参 加 人 数							連携団体	成果と課題	
						乳幼児	小1～3年		小4～6年		中高生	大人			合 計
			自由来館	学童クラブ	自由来館		学童クラブ								
						児童館まつり～エンジョイプロ ジェクト2024	1	向島南児童館	47	0	66	0	12	0	110
			おやこ自転車教室	1	向島南児童館	0	5	3	0	1	0	15	24	伏見警察署 学区社会福祉協議会 学区民生委員会	地域の交通安全のために 今年度二度目になるが 伏見警察署の指導、社協、民生の支援を得て「自 転車教室」を実施。保護者にも児童の自転車技量等 の実際を見てもらう事も考慮して「親子参画」で 行う。児童館企画なので基本「希望者」になるの で少ない人数ではあるが 積み重ねていけるよう今 後も継続していく。
			合 計	2	－	47	5	69	0	13	0	125	259		
	本 社 会 活 動	(2) ボランティア 活動の推進	活 動 内 容			活 動 人 数				成 果 と 課 題					
中高生						大学生	大 人	合 計							
					① 遊びの指導活動 ② クラブ活動指導補助 ③ イベント手伝い 他	2	0	1	3	昨年度と引き続き 元学童クラブ所属児童が 中高生 になって訪問してくれたのをきっかけに イベント手 伝いをきっかけに 日常のクラブ活動に参加したり 遊びやクラブ活動指導補助をしてくれたりという事 が増えてきている。また そのつながり関係で 館 の方に遊びに来てくれたりと少しづつ、運営とま では まだいれないが、補助スタッフとして活動し てくれるようになってきている。また地域のボラン ティアが1名週2日程来てくれたり 館としてつな がり広がっている。					
			合 計												
	機 動	(3) 地域との連携を 促進する活動	連 携 団 体 等	連 携 内 容							成 果 と 課 題				
「みんなおいでいっしょにあそ ぼう向島版」関連団体（地域保育 園、児童館、民生委員会等）			向島地域の民生員会、保育園、児童館等が協働して 年5～6回（およそ隔月） の会議・企画をもち、地域の乳幼児親子への企画実施や各団体の動き、地域の 情報交流を行っている。							今年度は 従前のように徐々に活動を以前通り復帰させていった。今年 度主に5回の会議を行い 各団体の動きや地域に関する情報交流を行って いる。また 今年度も地域の乳幼児親子を対象に2回のイベントを実施す ることができた。ただ地域からの家庭の参加数が伸び悩んでおり、地域 の実態が浮き彫りになってきている側面もある。					
向島南学区社会福祉協議会 向島南学区民生委員			近年 学区社協・学区民生委の子育てサロンと 基本月の第三週木曜日に児童 館内で共同して実施している。また 季節ごとの行事や取り組みを共同して実 施したり、情報交流を行うなど共通認識を作っている。							活動を以前に戻していくことができている。また5年度初めて実施した 「おやこ自転車教室」にもサポートに入っていたなど関係を少しづ つ深めている。					
伏見区本所地域要保護児童対策 地域協議会			児童虐待をはじめとする地域の子育ての実態や諸課題についての情報交換を図 り、その対応について共通理解を図っている。							児童虐待をはじめとする地域の子育ての実態と課題について情報を得る 機会と共に情報提供する機会となる。今年度 児童相談所に情報提供等 行う事はあったが、要対協で問題提起するほどの課題は起こらず経過し ている。					
向島子ども・若者支援ネット ワーク会議			ニュータウン再開発に関する会議に端を発して 文教大学地域連携部を連絡の 核におきながら 向島地域の子ども・若者の支援を目的に 地域の子ども・若 者に関連する団体が集まって 情報交流、話し合いを行っている。地域の情報 提供および情報交流のために参画している。							現時点では 活動のテンポが合わず、情報交流・提供の域を出ないが 向島地域全般の子ども・若者に係る活動なので 今後も積極的に関与し て行く予定である。R6年度12月会合で「向島南児童館の今」という内容 でミニ学習会として報告を行う。					

令和6年度

児 童 館 事 業 年 間 活 動 報 告 書

<様式10-4>
京都市向島南 児 童 館

地域福祉促進機能	基本活動	(4) 児童館を支える地域組織作り	組織名称		構成団体・個人		会議／取組頻度		議題／取組内容		成果と課題		
			協力会		向島保育園 向島南学区社会福祉協議会 向島南学区児童民生委員会		適宜		年間活動の予定確認 子育てお出かけ隊はじめとする年間の連携活動に関する打合せ 次年度の活動の方向性について他		各団体にとって別個に会議を設定する大変さもあって、取り組みの後に随時予定検討、報告等をおこなっている。次年度に向けては館長の交代もあるのでそういった対応も含めて3月に報告会を行う。		
	推進活動	(5) 地域への施設提供	会場提供・備品貸出等		使用目的		提供先（団体・機関等）			成果と課題			
			遊戯室 印刷機 育成室～図書室		会議準備作業 各イベント他掲示・配布物印刷 会合		向島保育園 向島南学区社会福祉協議会 向島南学区児童民生委員			日頃の活動連携の関係で 場所、印刷等の事務等が便利だとして 館を積極的に利用いただいている。今後使用幅を広げる時 会場使用料等を整える必要があるのか検討中である。（現時点では利用申請書提出のみ）			
遊戯室・育成室・図書室 館庭 印刷機			子育てサロン開催 ベタンククラブ活動 広報ビラ等の印刷 他		向島南学区社会福祉協議会 向島南学区体育振興会 学区コミュニティサークル「陶芸」 他			日頃の活動連携の関係で 場所、印刷等の事務等が便利だとして 館を積極的に利用いただいている。体振でのベタンクの活動は メンバーの規模もあるがスペースが広すぎても取り組みにくいという事もある 館庭ぐらのスペースが良いと重宝されている。今後使用幅を広げる時 会場使用料等を整える必要があるのか経過観察中である。					
機能	(6) 地域調査活動	調査名		調査目的		調査対象		調査主体		調査方法		成果と課題	
		登館・帰宅経路の現状確認		経路の安全性・適切性の確認・見直し		登館経路の確認・帰宅経路の道路環境及び周辺環境の確認		向島南児童館		職員の目視による実態調査及び安全マップ等利用しながら再確認を行う。		昨年度より学校による新1年生の帰宅指導がなくなったので 例年より早い送迎を行うと共に 送迎をしながら危険箇所、児童の動きなど確認していった。	

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広報活動	「Mukaijiminami児童館だより」	12回（月1回）	学童クラブ加入全家庭、学校及び当該施設設置場所の元小学校施設長、乳幼児クラブ参加者。児童館法人理事、評議員。	①児童を通じての配布 ②事業所並びに自宅へ配布 ③配布可能な会合・イベントでの配布 ④館内配架 ⑤掲示板（地域含め）掲示	① 児童館活動、学童クラブ・乳幼児クラブ・母親クラブの前月の活動の様子を文と写真で知らせる。 ② 当月の活動予定（参加募集等）を知らせる。 ③ 児童館からのお知らせやお願い事項を掲載する。	児童館と学童クラブ保護者、乳幼児クラブ・母親クラブ参加者との連携に役立っている。また 児童館の様子をイメージしてもらうのにも役立っている。現在利用のアプリには写真を掲載しない事も保護者にご理解いただいているので児童館だよりの写真は楽しみにしていただいている。今後もより魅力ある紙面を目指し、一層の紙面の充実を図り、関心を高めていけるようにし
	「向島南児童館からこんにちは」（児童館だより地域版）	12回（月1回）	学童クラブ加入全家庭、学校及び当該施設設置場所の元小学校施設長、乳幼児クラブ参加者。児童館法人理事、評議員。	①児童を通じての配布 ②事業所並びに自宅へ配布 ③配布可能な会合・イベントでの配布 ④館内配架 ⑤掲示板（地域含め）掲示	広報内容は 地域に向け手を目的として児童館だよりの簡易版として手短な内容で作成。内容は 以下の通り。 ① 児童館活動、学童クラブ・乳幼児クラブ・母親クラブの前月の活動の様子を文と写真で知らせる。 ② 当月の活動予定（参加募集等）を知らせる。	地域に児童館の存在を認識してもらう事を課題として取り組んでいる。社会福祉協議会、民生委員会との良好な関係を軸に町内掲示板の活用を図りながら進めている。課題としては 紙面の構成で「伝えたいこと」と「見てもらいたい紙面」とのバランスに より工夫が必要という点。
	「つくしんぼ通信」（児童館だより乳幼児クラブ版）	12回（月1回）	学童クラブ加入全家庭、学校及び当該施設設置場所の元小学校施設長、乳幼児クラブ参加者。児童館法人理事、評議員。	①保護者を通じての配布 ②事業所並びに自宅へ配布 ③配布可能な会合・イベントでの配布 ④館内配架 ⑤掲示板（地域含め）掲示	① 主に乳幼児クラブ・母親クラブの前月の活動の様子を文と写真で知らせる。 ② 当月の活動予定（参加募集等）を知らせる。 ③ 児童館からのお知らせやお願い事項を掲載する。	児童館と学童クラブ保護者、乳幼児クラブ・母親クラブ参加者との連携に役立っている。また 児童館の様子をイメージしてもらうのにも役立っている。より広範囲に配布できるよう 配布先の拡大と同時に紙面の充実にも努めていきたい。ただ傾向として紙ベースで持ち帰る家庭が減っているように思われるので 今後データベースでの広報をより進める形になっていくと思わ
	児童館掲示板掲示	随時	地域住民	① 児童館前（小） ② 元小学校北東角掲示板 ③ 館正門横新規掲示板 三カ所に児童館だより、お知らせ・お願い事項等を掲示する。	① 児童館からのお知らせ・お願い事項等の掲示 ② 毎月の各「児童館だより」 ③ 京都市他 各種団体からのお知らせ・案内 ④イベント参加募集等のお知らせ ⑤他団体イベント等の案内・お知らせ	学校東南角、門横柵、門前小掲示板を有効活用し、館の取組から地域イベント、市行政からの広報等見やすく掲示できるようになって グラウンドゴルフ等参加の地域の方が目にしていけることが少しずつ増えている。今後も掲示の仕方等工夫していきたい。
	京都市児童館ホームページ並びにSNS（インスタグラム）	毎月1回更新（並びに随時）	ネットユーザー（保護者及び児童を持つ家庭や中高生を主に対象）	児童館学童連盟HP Instagram（遊び内容の写真、イベント予定・案内）	児童館の概要並びに取り組みや行事の紹介・案内、イベントの開催案内	不特定多数に閲覧されることに留意して内容をしっかりチェックしている。また当館としては現状、インターネット上に児童の写真アップすることを個人情報保護の観点から良しとしていないので メインは企画の予定お知らせ・案内になっている。SNSの利用に関しては 企画のイメージを持ちやすいように 今年度より遊び内容・遊具の写真をInstagramにあげて広報

令和6年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

京都市向島南児童館

	活動の基本目標（指針）	主 な 取 組 名	成 果 と 課 題
生活援助機能	安全・衛生の確保	・館内生活並びに施設使用の決まりやマナーの指導。 遊具の安全な使い方などの指導。 ・登館指導・帰宅指導 ・避難訓練、災害時緊急対応指導 他	・児童館の施設や用具を利用するための諸注意、決まりやルールの定着、マナーについて その都度 また機会を見ておわりの会などで指導を継続してきた。また当番活動の一つである自分たちでの片付け等の点検行動を通して道具の片付け、整理が身についてきている。引き続き指導・取り組みを継続していく。 ・4月～5月にかけて新1年生への登館指導（学校からの）、集団帰宅にあたり、交通並びに不審者に対応できるよう安全指導をした。年度末のアンケートの中でも「安全の話聞いている」と少しづつでも意識がされてきている。安全、マナーの面での一層の向上を目指し働きかけを行っていく。 ・地震・水害・火災・不審者等想定して避難訓練を実施してきた。また台風時の注意等 ビデオ映像や画像、話等使いながらできるだけわかりやすいよう伝えてきた。「助かる」ための知識・行動を折に触れ機会をとらえて伝えていく。 今年度、BCP計画を整えると同時に 「非常時の連絡方法」の再検討を行い 必要な備品をそろえていった。
	健康の管理・情緒の安定	・手洗い、うがい等保健衛生週間指導 ・トイレの使い方指導 ・感染症予防の指導（検温・手洗いの励行）	・従来から登館時（帰館）と昼食・おやつの時間前に手洗いの習慣化（手洗いの方法の習熟徹底）に重点的な指導を行ってきた。ともすれば手洗いなど適当に済まされることもあるので定期的に 手洗い確認、指導を取り入れている。現在手拭きはペーパータオル使用を衛生的な観点から続けているが ペーパーの大量消費に関して代理案が確定できず 引き続き検討が必要である。 ・トイレ指導は、使用マナー（スリッパ着脱、水洗等）は継続して指導している。また失敗したケースもそれぞれに合わせて事後対応を行いサポートしている。 ・手洗いの指導と共に主に「防災と安全の日」に食中毒についての情報を伝え、注意喚起と、日頃の生活習慣を整えていくよう指導している。
	基本的生活習慣の確立	・あいさつ習慣指導 ・整理整頓後片付けの習慣指導	・3つの「あ」を当館の生活のめあてとしている。「あいさつ」「あんぜん」「あかたづけ」を児童に呼びかけ、指導の目安としてきた。上級生からの良い意味での影響も含め 少しずつ定着してきている。 今後も根気よく指導を続けている。
	社会生活技術の獲得	・エコとクリーンの日（施設の清掃・片付け・エコロジーの知識等） ・作って食べようクッキング教室 ・作って遊ぼうクラフト教室 ・当番制による整理整頓・片付け点検の活動	・毎月1回、子ども達と共に大掃除を実施。雑巾の使い方、箒の使い方等を指導しながら環境美化等の意識を高めるようにしている。 ・クッキングを通して 調理の方法や危険等を体験しながら楽しむ機会で作業中密集しすぎない、換気に留意等行いながら 徐々に以前に近い形で復帰してきている。令和6年度は前半簡易な形でできるものから始め 後半旧来のようにグループ毎で作る形態に戻っていった。 ・毎月1回「作って遊ぼうクラフト教室」の時間を設け、手作りおもちゃに挑戦できる取組みを行う。 ・毎日 終わりの会の前に 班活動の一つとして外遊びや館内遊具、設備などの整理整頓、点検を行っている。この活動は生活班とは違って、集団帰宅で同方向に帰る班単位を中心に行っている。
子ども育成機能	生活体験の拡大	・「エンジョイプロジェクト～児童館まつり」 ・伏見子どもまつり2024（藤森神社にて） ・遠足等の館外活動	・昨年に引き続き「児童館まつり」をメインに 夏季期間の取組をトータルに楽しもうという事で 児童の参画を考えながら取り組む試みを始めた。それぞれのイベントを単発でなく つなぎ合わせながら児童が企画の内容や運営を考えながらできるようにすることが目標。今年度は こちらのイメージが持ち切れていなかったため、トータルな形で運営参画にはならなかったが 各イベントにおいては児童の意見を集約したり、運営補助に参画したり進めることができた。少しづつ継続発展させていきたい。 ・今年度は 遠足において「天王寺動物園」へ。来館者数が多い中 班活動としてまとまって移動、行動できた。
	社会性の養成	・異年齢集団（中高生含）による遊びの経験 ・「みんな遊び」（基本全員参加）による異年齢交流 ・館内及び近隣児童館等の交流、京都大会等のより幅広い児童集団への関わり・参加の促進	・「なかよく。たのしく・げんきに」を児童館生活の目標に、異年齢児童が一堂に集う児童館の特性を生かし、縦割りグループによる遊びを進めてきた。毎月1回全体で遊ぶ「みんな遊び」にも取り組んでいる。3年生以上中心の「あそび会議」も定着しており、前回の遊び反省等も含めて 対象等考慮しながら内容を考える上級生が育ってきている。引き続き遊びを通して創意工夫したり、他を思いやる心や互いを尊重し合う気持を育てていく。 ・今年度 淀児童館とあそび交流と特異交流と2点を対面で行ってきた。「将棋」交流では 今年度対面交流の回数を増やすと共に 新たなにもやま児童館を交え3館交流の形態で取組み事ができた。児童にとってやはり対面での交流は印象に残り実感が伴うものとなった。ただ連盟の特設交流大会が夏季といった早い時期となったため 新1年生の参加取組みが充分こなれた形での参加になりにくかった。年間の流れの組み方を検討する必要がある。 ・遊び交流では 淀児童館と半年かけ 子ども達の実行員会形式で「おけけ屋敷企画」企画を進め11月に実施していった。
	自立の促進と自主性の尊重	・入部式・修了式 ・誕生会 ・年間思い出アルバム ・伝統的な遊び（けん玉・百人一首・将棋等）への取組及び競技・検定等への挑戦 ・企画・運営への積極的な参画による自主性尊重	・誕生会や季節の行事を通して、児童に自分への振り返りや成長の確認をする機会を設けることによって、自立の意識や自主性を育てる取り組みを行ってきた。またコロナ禍時期に実施していたお祝い方法を展開しながら 従前のお祝い形態を復活。「お祝いの気持ち」をみんなで表せるように工夫を広げていった。 ・入部式、修了式では 桜下での式を実施してきていたが、天候等に左右されることも多いため館内での式実施に変更。入部式近くでの天候を見て、昼食を桜下で取る形に変更する。 ・コマ回し、けん玉、将棋、百人一首かるたなど伝承遊びを紹介し、自ら進んで活動したり、より自分を高めようとする意識を育てるように取り組んできた。子どもたちの持続力には、個人差があるので多様なものが提供できるように工夫することが課題である。例えば けん玉では 新1年生へのパフォーマンス、イベントでの発表といった節目を作りながら継続できる工夫を行っている。
子育て支援機能	子育てに必要な情報の提供	・児童館だより、児童館だより地域版、つくしんぼ通信（乳幼児クラブ版）の発行 ・アプリ「うえぶさくら」を活用してのアンケート、活動参加募集その他の情報提供	・毎月「児童館だより」「地域版」「乳幼児クラブ版」の3種を発行し、取り組みを発信している。保護者、自由来館利用者、地域に向けて 引き続き情報発信を続けていく。 ・学童クラブ保護者との連絡方法としてアプリ「うえぶさくら」を継続活用している。保護者の連絡方法としては このアプリを通じて出欠連絡やメッセージのやり取りを行っている。またアプリ利用を得意としていない保護者に向けても「メッセージカード」を用意する等工夫している。ただアプリの仕組み、コンテンツ等に使いにくい側面もあり 充実に向けて内容改善を申し入れていく。 ・広報として「児童の様子わかる写真（子どもが写っている）」を掲載した方がイメージが付きやすいという点は理解できるが、「児童の写真をネットにアップロードする」という点で その安全性の観点から 現時点では、児童の写真やH P等にアップすることは行っていない。ただ今年度職員の中で検討する中 「取り組みのイメージを持ってもらいやすいように」と、「取り組みに使うもの」「取り組みで作るもの」等取り組みに関連した写真をSNSにアップする中で 参加しやすい状況をつくる
	子育ての仲間づくり	・手伝い、保護者懇談会等を通しての交流 ・H Pや掲示板の活用	・効果については実施継続しながら 検討改善を行っていく。 ・出入りする利用者に、①目につきやすい ②情報量が増やせる 点を考慮した。また児童館だけでなく 元小学校利用者の出入りにも目が触れやすくなることから 掲示の内容を工夫しながら情報を広げていく。
	子育てを支えるネットワーク形成	・保護者説明会、保護者懇談会等の開催 ・学校（元小学校含む）との連携 ・基幹子育て支援ステーション活動 ・地域諸団体との連携	・年2回保護者懇談会の開催を行う。保護者と直接話ができる数少ない機会、児童館での児童の様子を伝える、また日頃の疑問、不安などが相談できる場所としている。保護者会については、保護者に取り組む余裕がないとの強い意見から まず児童館の活動の中で「やりたい内容」で「やりたい方」から参加してもらい、それを膨らませていく形をとっている。会組織としての形態は 将来の目標の中になる。 ・基幹ステーション団体との連携はもとより、学区内にこだわらず 向島地域全体を視野に入れた団体間の連携を視野に入れて その方法を模索している。

令和6年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

京都市向島南児童館

行事名	実施回数	学童クラブ児童						登録外児童		ボランティア			その他	合 計	内 容
		1年	2年	3年	4年	5年	6年	1～3年	4～6年	中学生	大学生	大人			
(1) エコとクリーンの日	12	234	151	128	36	2	16	7	0	0	0	4	0	578	主に月中旬に日を設定して、エコロジーと整理整頓、清潔についての意識を他県る取り組みをしてきた。身近な省エネについての意識を高める指導と全員による大掃除に取り組んできた。
(2) 誕生会	12	242	179	46	46	5	12	6	3	1	0	0	0	540	毎月月末に その月に誕生日を迎えた児童の誕生会を実施している。全員でケーキをいだいとお祝いをし、該当児童は、自分の抱負と将来の夢などを発表している。児童館からは、写真入りバースデイカードとお祝いプレゼントをしている。五類移行以降お祝い内容を分けることなく全体で行う事ができるようになった。
(2) みんな遊び	12	229	191	170	49	3	14	4	1	1	1	1	0	664	3年生以上で構成されるあそび会議で考えられた集団遊びプログラムをもとに、1年生から自由来館児童を含め異年齢で取り組んでいる。
(2) 遊び会議 (3年生以上)	12	0	0	84	15	9	4	2	0	0	0	0	0	114	3年生以上の上級生に参加してもらい、次月の「みんな遊び」の内容を検討・決定してもらい児童主体のプログラム検討会議を実施している。積み重ねていることもあり、遊びに対する提案や配慮等 児童たちの中に育ってきている。
(2) エンジョイプロジェクト2024 (5プログラム)	1	105	79	104	48	11	14	0	0	0	0	4	153	518	夏季期間のいくつかの取組をトータルに関連付けて楽しむためのプログラム。最終に 児童館まつりをクライマックスに持ってくる形で計画実施する。メインの祭りでは 児童主に主としてコーナー企画・運営を受け持ってもらい実施する。また「けん玉パフォーマンス」等発表の場も設けている。
(2) けん玉検定 (もしかめ検定、発表会含)	29	86	31	75	6	2	2	3	5	1	0	0	0	211	けん玉遊びに挑戦する事によって、伝統的な遊びの継承と チャレンジする心の養成、成就感を得る体験ができるように実施。またそのために級位制、回数の記録挑戦等が取り組めるように工夫している。また発表の場 (新入部児童に向けてのデモ、祭り、クリスマス会等イベント発表) を設けるなどモチベーションをあげる機会も設けている。
(2) 伏見子どもまつり (藤森神社)	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	連盟6ブロック主催の伏見の子どもまつりへの参加呼びかけ。藤森神社境内での実施は二年目となる。昨年同様 まつり運営と館運営 (自由来館自動対応等) の体制の関連で引率が困難であったので 今年度も館内で積極的に案内・広報するにとどめた。
(2) 百人一首クラブ・京都府大会	51	94	28	176	8	1	0	43	2	25	0	0	0	377	五色百人一首を使って百人一首に興味関心をもたせる取り組みをしている。その中で 百人一首という文化を楽しむと共に かるた取りの形式を行いながら、成就感、チャレンジ精神の涵養をはかる。京都府大会参加は昨年同様家庭への案内にとどまる。コロナ禍で企画できていなかった近隣児童館との交流を希望。
(2) 書道教室	12	57	28	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	97	書道教室は毎月1回「書の面白さ」を伝える機会として実施している。書初めをはじめ、長半紙を使ったり、先生のお手本だけでなく、「書いてみたい字にトライ」したり、「自分の名前を書いてみる」等講師の先生の工夫で楽しんで書く機会となっている。
(1) 作って食べようクッキング教室	7	66	38	53	13	1	3	33	13	0	0	0	4	224	昨年の再開状況を踏まえながら以前のようにグループ単位で別れてグループ単位でクッキングを行い、一緒に食べる形式に戻していくことができた。今後少しづつ 取り組み幅を広げていきたい。
(2) 作って遊ぼうクラフト教室	16	110	102	92	11	0	3	5	0	0	0	0	1	324	毎回 題材・素材を用意して 簡単な手作りおもちゃや工作に取り組んでいる。「簡易な道具や廃材等を使って その後遊べる」ものを作っている。
(3) 入部式・修了式	各1	41	30	31	12	2	6	3	3	0	0	0	7	135	新入部生、職員及び法人理事長をお迎えして実施している。双方の顔合わせ的な意義を持たせ抑々しくならないように実施している。
(3) お楽しみ遠足 (3/25)	1	22	22	15	5	0	1	4	1	0	0	0	0	70	今年度は バスを利用して大阪「天王寺動物園」に出かけた。荷物を置く場所が確保できたこともあって身軽に行動できた。またグループ毎に話し合って見たい動物の場所へ移動。またクイズ形式のオリエンテーリングも実施。ケガもなく無事帰還でき、楽しい時間を過ごせた。なおバス利用は高額になることもあり、計画時にその点を含んだ検討が必要であった。
(2) 将棋クラブ・教室 (Web交流会含む)	48	219	38	122	16	3	8	36	0	0	0	0	3	445	毎月およそ4回将棋クラブを実施。うち2回は「将棋教室」として 将棋連盟より講師を招いて指導に当たってもらっている。淀児童館との交流将棋クラブは、対面形式で交流を継続。後半期に桃山児童館との交流も始まり交流の幅を広げている。児童にとって より対戦相手の実感の伴った取り組みになった。今後もこの形で継続していく。
(2) ボードゲームを楽しむ会	8	47	39	22	9	0	1	2	0	0	0	0	0	120	中高生対象から始まった取り組みだが、学童クラブの中でもボードゲームを通して交流していく事の大事さから混合した形で実施している。2人でできるゲームから協力して課題をこなす形のゲームまで幅広いゲームを取り組む機会を設けている。基本は月2回土曜日に実施している。
(2) 学童クリスマス会	1	23	16	14	4	0	2	4	2	0	0	1	0	66	例年の季節行事でお楽しみの企画として実施。児童が自分たちで演し物を計画し、練習して発表するコーナー等司会進行役等も含めて自主的な取組の一つ。スペースが狭い事もあって 保護者に参加してもらう事が困難だが、希望する保護者には見学可にしている。
(2) 他館とのあそび交流会 (「おばけ屋敷企画」含む)	7	26	5	12	8	0	2	54	9	0	0	0	2	118	百人一首交流・将棋交流・遊び交流・「お化け屋敷」企画

(2) 伝統工芸等体験	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	例年「今日の匠の技を知る」伝統工芸体験」を企画申し込みをしているが、今年度は企画を確保できなかった。この企画には毎年一定人数の参加希望があり、めったにできない体験ができる良い機会なので引き続き計画していきたい。
(2) 防災と安全の日・避難訓練	21	362	220	218	71	2	17	9	0	0	0	0	12	911	「防災と安全の日」と「避難訓練」は、双方毎月1回設定し、交通安全・感染症・台風・火災・水害・不審者対応等テーマを設けて指導し、訓練を実施している。また昨年度課題であった「消火訓練」の記録についても留意して実施してきた。	
(2) 向島郵便局支援「醍醐メモリアルキャンドル企画」	0	3	2	5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	12	文化庁京都移転記念事業として行われたイベントに参加。イベントのイメージはなかなかつかみにくかったよブだが、取り組み自体は楽しかった様子である。また作られた作品展示は夜間用の物だったので引率とはいかなかったが 保護者に案内し、行かれたご家庭には好評だった。	
														0	館がお世話になっている向島郵便局から声がかかり、夏季期間の一つのお楽しみとして参加する。今年度も参加したが イベント自体は雨天のため中止となり残念な結果となった。地域連携でもあるので今後も継続していきたい。	

*注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
*注2 2クラス以上の館所で、クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は、行事名と併せて、クラス名を記入すること